第１号様式（第７条関係）　　記入例

令和　9　年度　海老名市市民活動推進補助金交付審査申込書

令和　〇年　〇月　〇日

海老名市長　殿

申込者　所　在　地　　海老名市勝瀬１７５番地の１
名　　称　　〇〇〇〇の会
代表者氏名　　海老名　太郎

次の事業について、補助金の交付を受けたいので、海老名市市民活動推進補助金交付要綱第７条の規定により審査申込します。

①事業の区分

入門編（上限１０万円）・充実編（上限２０万円）・発展編（上限３０万円）

②事業の名称

事業の内容や目的が分かりやすい名称をつけてください。
（例）〇〇〇〇啓発活動事業、〇〇講習会　など

③事業費総額

第２号様式　支出の部「支出合計(B)」　円

④補助金交付審査申込額

③のうち、補助金の交付を受けたい金額　円

⑤補助金の使途

補助金の使用用途を記入してください。（手引き P.5 参照）
例）謝礼、旅費、食糧費、印刷製本費、使用料、賃貸料、通信運搬費、消耗品費、備品購入費

⑥現状の課題と事業目的

どのような問題の解決を目指して事業を実施するのか、記入してください。

⑦事業内容

事業の内容（日時、場所、参加費、定員、講師名など）を記入してください。
※書ききれない場合は、資料を別にご準備いただいても構いません。

（例）
日時：11 月下旬、場所：市民活動センタービナレッジホール、参加費：300 円、
定員：100 名、講師（案）：〇〇　〇〇氏、その他：講演会の後、情報交換会を実施する。

⑧事業を実施することによる効果

事業を実施することで、参加者がどのような利益や効果を得られるか記入してください。

⑨前年度と比較し、拡充・縮小した内容　※前年度に実施している場合に記入

・この補助金を交付されることで、何ができるようになるか
・活動を更に軌道に乗せるため、どのような内容を実施するか
・過去の実施に比べて、どのように事業を発展させるか
（例）
・チラシの枚数を増やすことで、団体及び事業の認知度向上を図る。
・これまでビナレッジの会議室で開催していたが、定員数を増やすため文化会館の小ホールで開催する。

事業の実施スケジュール

年　月　日	内　　容
講演会やイベント等、実施する事業のスケジュール、その内容を記入してください。	
令和９．６	第１回実行委員会
令和９．７	会場手配
令和９．８	市の広報（市民のひろば）へ掲載や市コミセンへの掲示依頼
令和９．９	第２回実行委員会
令和９．10	第３回実行員会、出演講師との打合せ
令和９．11	事業実施（下旬）

⑩事業実施体制

実施する事業について、団体の組織体制、ＰＲ方法、講師の選定方法、事業会場の設定方法などを記入してください。

⑪今後の展望

今後、審査申込事業や団体の活動を、どのように進め、広げていくのか記入してください。

添付資料

1　海老名市市民活動推進補助金収支予算書（第２号様式）
2　海老名市市民活動推進補助金審査団体の概要書（第３号様式）
3　団体の規約、会則又は定款又はこれに類するもの
4　団体の役員名簿又はこれに類するもの
5　団体の活動が分かる会報等

記入例

第２号様式（第７条関係）

令和　9　年度　海老名市市民活動推進補助金収支予算書

事業名称　●●●●啓発活動事業

団体の年間活動予算等ではなく、審査申込をする事業についての予算を記入してください。

１　収入の部　（単位　円）

科目	予算額	説　明
収入合計（A）		

科目（参加費、協賛金、寄附金、繰越金、海老名市市民活動推進補助金 など）毎に記入してください。

※補助金の額は、第１号様式「④補助金交付審査申込額」と同額になるように記入ください。
※事業を実施する際には、団体の自助努力が必要です。補助金以外で、収入を得られるような工夫を十分検討してください。

２　支出の部　（単位　円）

補助金の充当	科目	予算額	説　明
支出合計　（B）			

審査申込事業の支出の内訳を経費ごとに分けて記入してください。

例）科目欄　・・科目（謝礼、旅費、食糧費、印刷製本費、使用料、賃貸料、通信運搬費、消耗品費、備品購入費 など）を記入
※補助金を充当する場合は、「補助金の充当」欄に〇をつけてください。
予算額欄・・科目ごとの金額を記入
説明欄　・・詳細（用途、単価、内訳、計算方法等）を記入

＜ポイント＞
講師料や会場費など、絶対に必要となりえるものを中心に、補助金を充当するように検討してください。その他、手引きＰ．５の「対象経費」をよくご確認ください。

※補助金を充当する科目は、「補助金の充当」欄に〇印を付けてください。

３　収入合計（A）－支出合計（B）＝　0　円

予算書の段階では、余らせたり足りなくなったりすることがないようにしてください。

第２号様式（第７条関係）

見本

令和　9　年度　海老名市市民活動推進補助金収支予算書

事業名称　●●●●啓発活動事業

１　収入の部　（単位　円）

科目	予算額	説　明
会員費	●●円	会員●名×●●円（年会費とは別に、この事業のために徴収）
参加費	●●円	参加者●名×●●円
海老名市市民活動推進補助金	●●●円	
収入合計（A）	●●●円	

２　支出の部　（単位　円）

補助金の充当	科目	予算額	説　明
○	講師謝礼	●●円	
○	講師交通費	●●円	片道●●円（往復●●円）
	印刷費	●●円	事業広告チラシ（50 円/1 枚×●●枚）
	会場利用料	●●●円	えびな市民活動センタービナレッジ１階ホール（1,500 円/h×●h）
○	当日配布資料	●●円	50 円/1 枚×●枚×●部
○	通信費	●●円	参加チケット郵送代（80 円×●名）
支出合計　（B）		●●●円	

※補助金を充当する科目は、「補助金の充当」欄に○印を付けてください。

３　収入合計（A）－支出合計（B）＝　0 円

第３号様式（第７条関係）

記入例

令和　9　年度　海老名市市民活動推進補助金審査団体の概要書

団体名称	
①所在地 （運営拠点）	〒 住所 TEL　　FAX E メール ホームページ
②連絡担当者及び連絡先 （日中の連絡先）	担当者氏名　　（役職　　） TEL　　FAX E メール 郵便物送付先住所 〒　　住所
③設立年月日	年　月　日（法人格取得年月日　年　月）
④設立目的・経緯	団体を設立した経緯、目的、きっかけ等を記入してください。
⑤主な活動内容	日頃の団体の活動内容（講演会や情報交換会の頻度や回数、どのような会員が活動しているか など）を記入してください。
⑥主な活動場所	普段、団体の活動をしている施設や場所等を記入してください。
⑦活動実績 （過去２年以内の主な活動実績）	過去２年で、団体がどのような活動をしていたかを記入してください。 ※設立から２年未満の場合は、過去１年間で構いません。

⑧会員数	個人会員　　人（うち海老名市民　　人） 団体会員　　団体 各団体の規定にあわせた表記で記載してください。

⑨前年度の決算状況	収　入	支　出
	会費　円 （内訳） 一般会員や賛助会員等からの会費	※内容を簡潔に記入 ・　円 ・　円 ・　円
	事業収入　円 （内訳） 参加費や事業への寄附金など。	・　円 ・　円 ・　円 ・　円
	助成金・補助金　円 （内訳） 前年度に当補助金を受けていたら、交付額（他の補助金等も記入する。）	・　円 ・　円 ・　円 ・　円
	その他　円 （内訳） 繰越金や利息等、団体への寄付　等	・　円 ・　円 ・　円 ・　円
	合計　円	合計　円
	前年度決算期間　平成　　年　　月　　日　～　平成　　年　　月　　日 原則、令和８年度（令和８年４月１日～令和９年３月31日）ですが、団体によっては決算期間が異なる場合があるため、団体の決算期間を記入してください。	
	※前年度決算額を記入する。 ※「その他」に繰越金以外のものがある場合は、内訳欄に金額の内訳を記入する。 ※次年度への繰越金がある場合は、支出に「繰越金」として金額を記入する。	

支出の内訳を具体的に記入してください。

例）
謝礼、旅費、食糧費、印刷製本費、使用料、賃貸料、通信運搬費、消耗品費、備品購入費　等

※次年度への繰越金等も、あれば記入してください。